

長岡商工会議所 令和8年度(2026年)「事業計画・収支予算」

(自: 2026年4月1日 至: 2027年3月31日)

I. 策定にあたって



第14代会頭
大原 興人

- ・国内外の様々な情勢の影響を受け、企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあり、とりわけ人口減少に伴う人手不足の問題は、業種・業態を問わず深刻化しています。さらにエネルギーや原材料高に加え、物価高騰、円安の進行、政局不安など先行きの不透明な状況がしばらく続くものと認識しています。
- ・中小企業にとりましては、持続的な賃上げや成長投資への原資を確保することが喫緊の課題であるとともに、デジタル化、DXの推進により生産性向上を図るなど少数精鋭での成長モデルへの変革も求められています。
- ・地域総合経済団体である当所では、『「変革」と「価値共創」により地域中小企業の稼ぐ力を強化』をスローガンに掲げ、伴走型経営支援の拡充により地域経済を担う中小企業、小規模事業者の課題解決、経営力強化に向けた事業計画を策定しました。
- ・当所は昨年の創立120周年という大きな節目を契機に、次の10年に向けて新たな一歩を踏み出しました。今年の秋には「米百俵プレイス東館」への移転が予定されていますが、関係機関との連携強化を図りながら、産業・ビジネスの交流拠点づくりを目指すとともに、会員の皆様にとって魅力ある事業を展開してまいります。

II. 行動理念

長岡商工会議所は、企業の成長と地域経済の活力強化を目指し、現場主義を徹底し、「行動する商工会議所」として地域と共に歩みます。

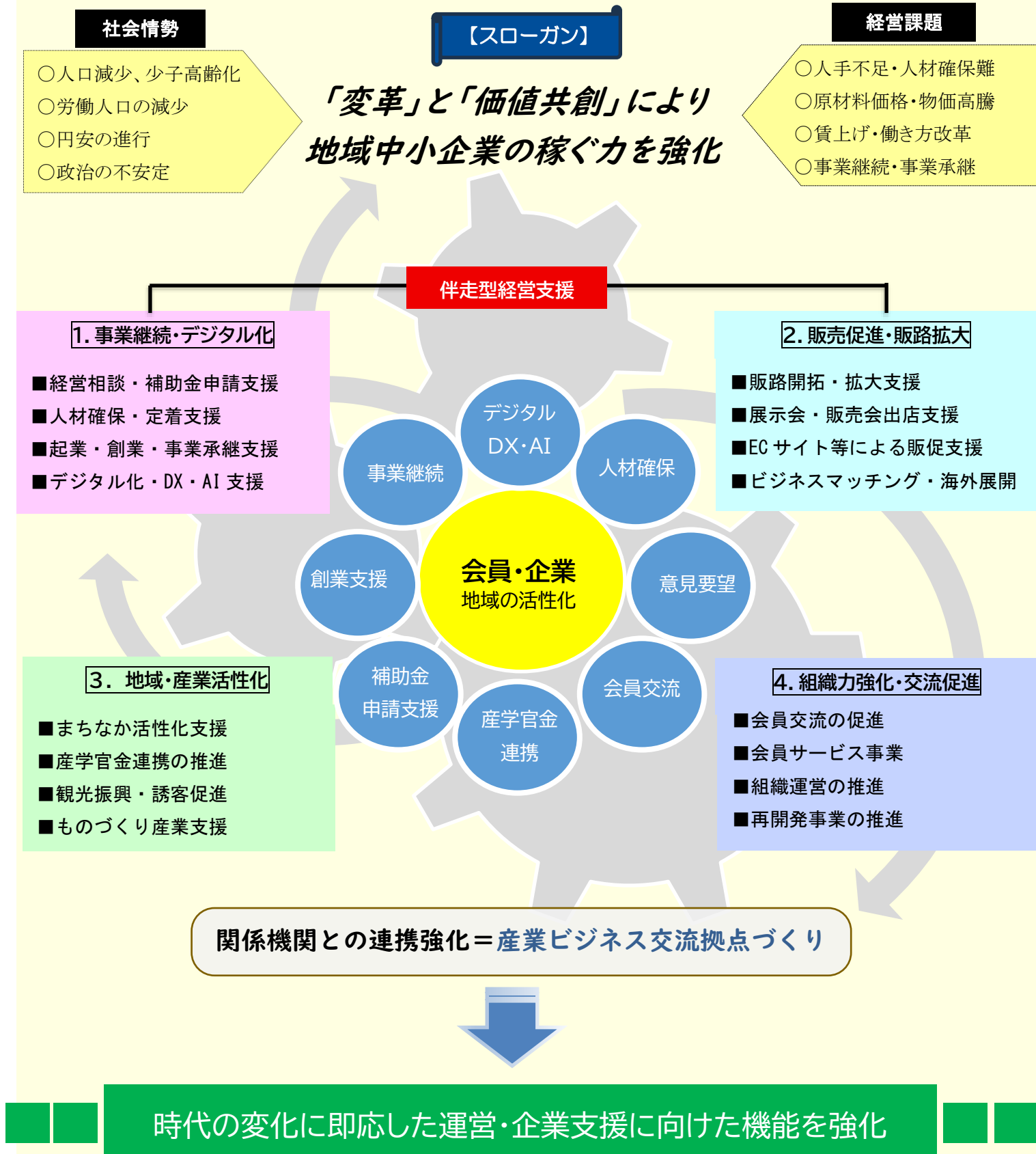
III. スローガン

「変革」と「価値共創」により地域中小企業の稼ぐ力を強化

IV. 事業方針

1. 事業継続・デジタル化支援 ⇒ 伴走型で企業の経営課題を解決
2. 販売促進・販路拡大支援 ⇒ 企業の稼ぐ力・売上拡大に貢献
3. 地域・産業活性化支援 ⇒ 経済団体としての存立基盤確立
4. 組織力強化・交流促進 ⇒ 会員相互の交流と組織基盤の強化

V. 主な事業項目



時代の変化に即応した運営・企業支援に向けた機能を強化